

2020年度第2四半期

不二サッシグループ 決算説明資料

2020年11月4日

不二サッシ株式会社

I. 2020年度 第2四半期決算の概要

	2017年度 上期	2018年度 上期	2019年度 上期	2020年度 上期
非木造建築物着工床面積(万㎡)	4,100	3,928	3,776	3,370
前年比(伸び率)	2.0%	-4.2%	-3.9%	-10.7%
新設住宅着工戸数(万戸)	49.7	49.1	46.7	41.4
前年比(伸び率)	-0.7%	-1.1%	-5.0%	-11.3%

※2020年度の着工が予測困難なため、過去の年次を含め上期の実績を掲載しています。

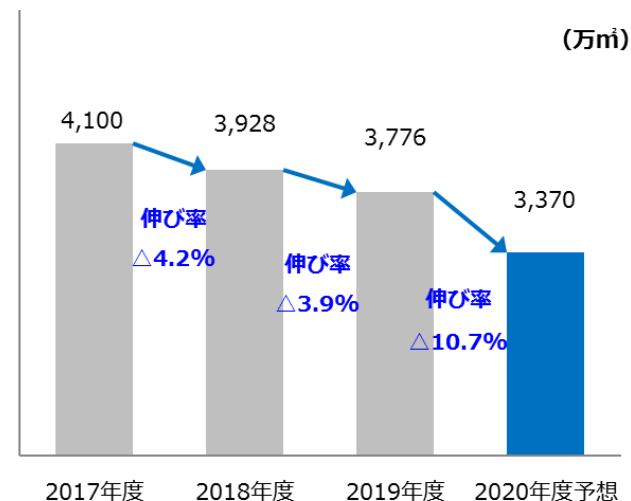
■非木造建築物着工床面積

倉庫は伸びているものの全体的に大幅に減少。新型コロナウイルス感染症拡大の影響は大きく、2020年度については下期も厳しい状況が続くと見込んでいます。

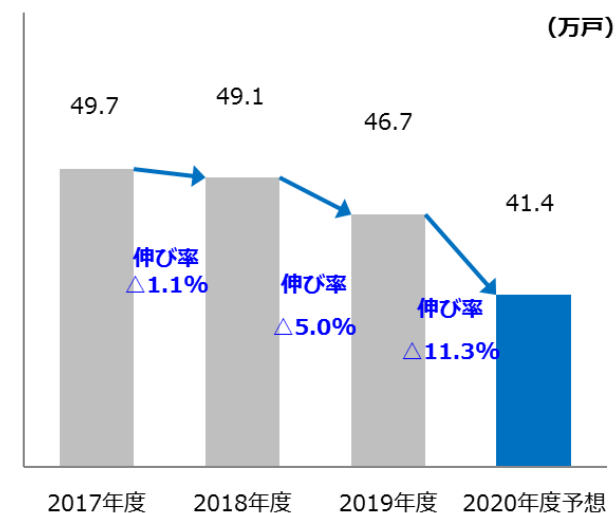
■新設住宅着工戸数

貸家を中心に全体的に減少していますが、マンションの減少は比較的緩やかな状況となっています。

非木造建築物着工床面積(4-9月)



新設住宅着工戸数(4-9月)



2020年度 第2四半期決算の業績について

【連結】

(百万円)

	2019年度上期		2020年度上期			
	実績		実績		前年同期比	
		売上比		売上比	増減額	%
売上高	42,279		37,526		△4,752	88.8
売上原価	36,198	85.6	32,525	86.7	△3,673	89.9
売上総利益	6,080	14.4	5,001	13.3	△1,079	82.3
販管費	6,992	16.5	6,455	17.2	△536	92.3
営業利益	-911	-2.2	-1,454	-3.9	△542	-
経常利益	-875	-2.1	-1,268	-3.4	△393	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	-1,018	-2.4	-1,485	-4.0	△467	-

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減収減益
- 売上の大幅な減少により原価率は1.1pt悪化
- テレワークの推進や出張自粛等によるコスト削減推進により販管費は減少

セグメント別 売上高・営業利益

【連結】

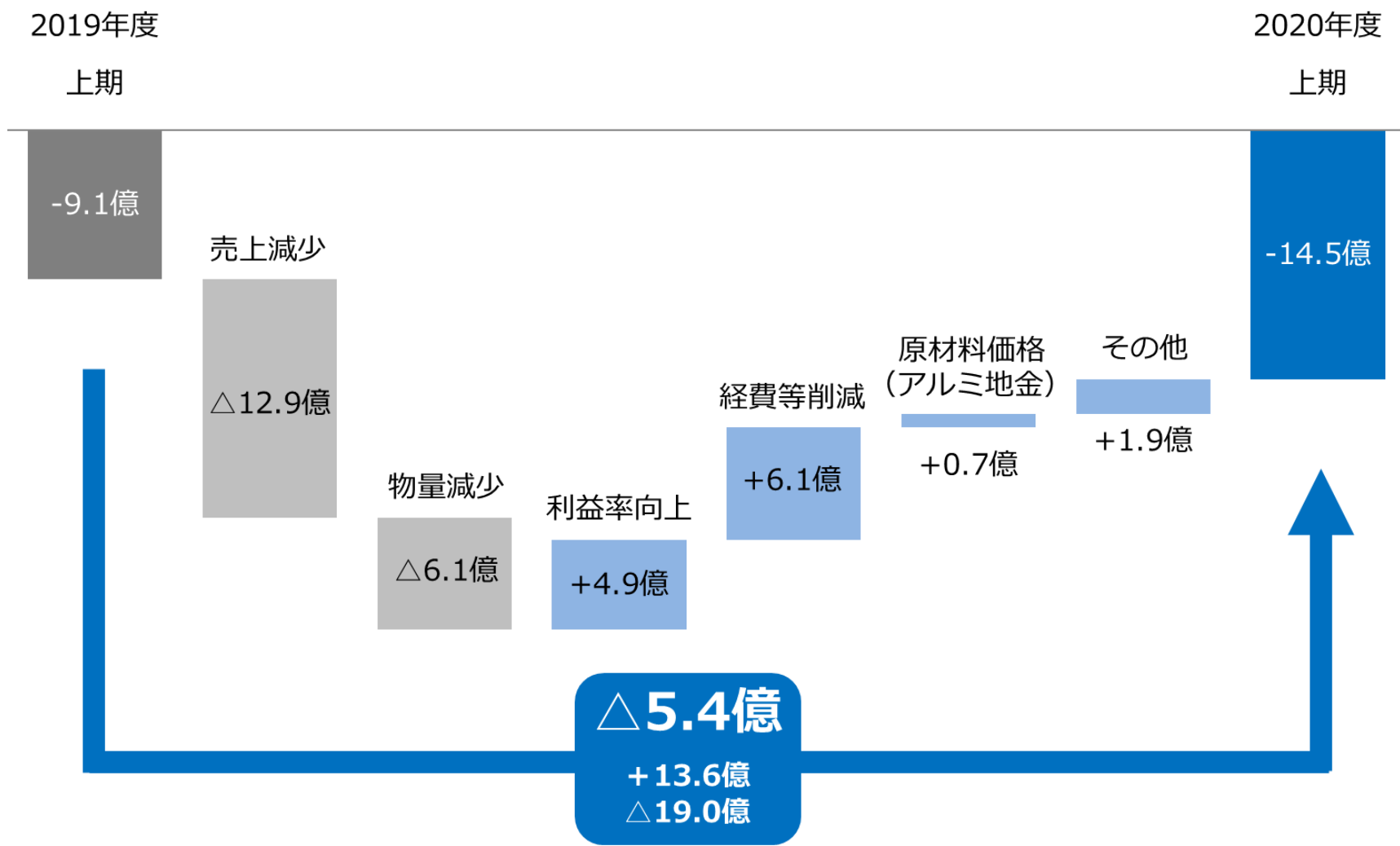
(百万円)

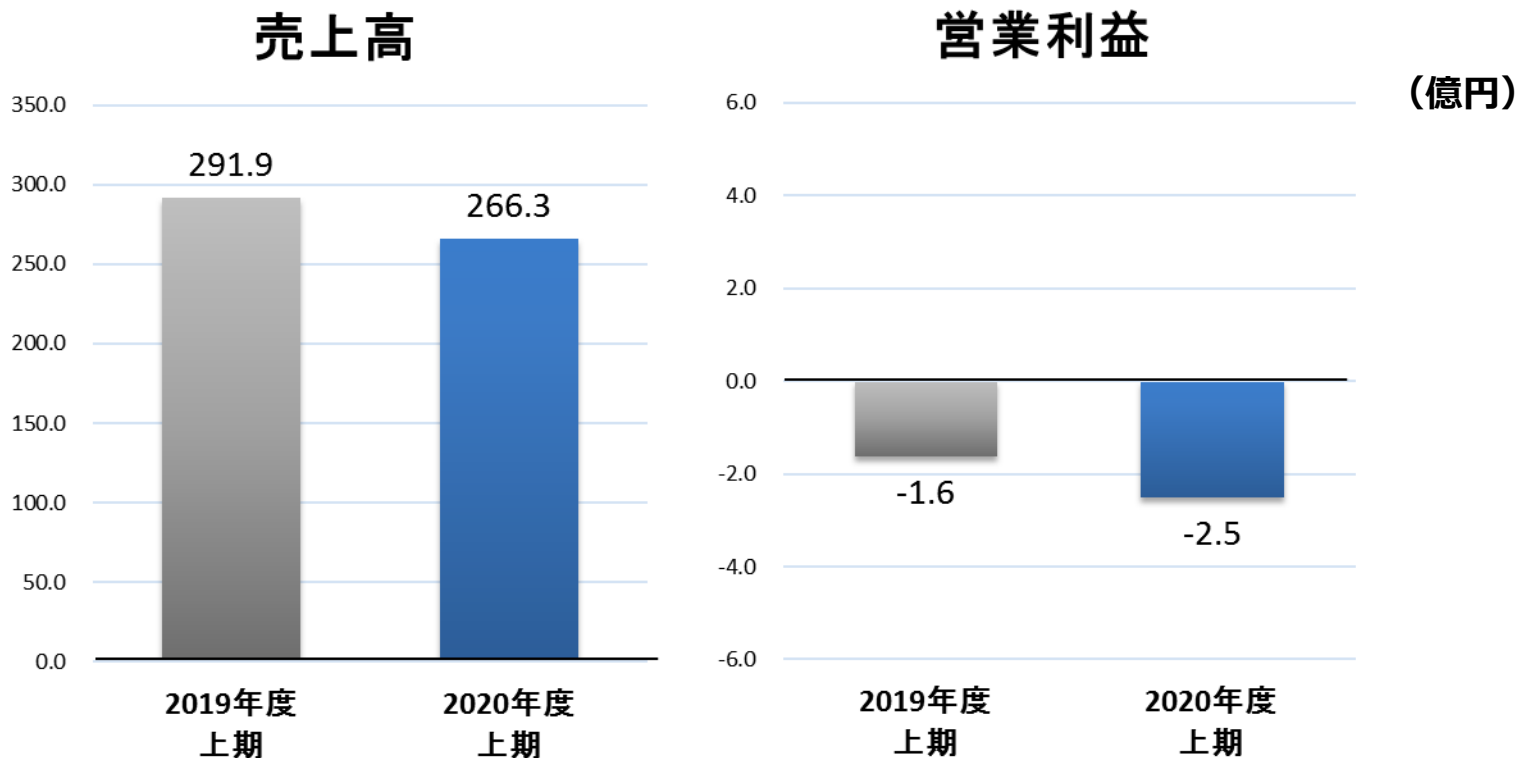
	売上高			営業利益		
	2019年度 上期実績	2020年度		2019年度 上期実績	2020年度	
		上期実績	対前年比		上期実績	対前年比
建 材 事 業	29,190	26,625	91.2% △ 2,564	-162	-251	- △ 88
形 材 外 販 事 業	10,447	8,572	82.1% △ 1,874	-167	-661	- △ 494
環 境 事 業	1,479	1,280	86.5% △ 198	39	9	23.1% △ 30
運 送 事 業	1,007	839	83.3% △ 167	182	127	69.8% △ 54
そ の 他 事 業	155	209	134.8% 53	-7	80	- 88
(消去又は全社)	-	-	-	(795)	(758)	37
合 計	42,279	37,526	88.8% △ 4,752	-911	-1,454	- △ 542

※2020年度より、運送事業について、セグメントの変更を行っております。
それとともに、2019年度実績についても組み替え後の実績を表記しております。

■ 新型コロナウイルス感染症の影響により、各セグメントとも減収減益

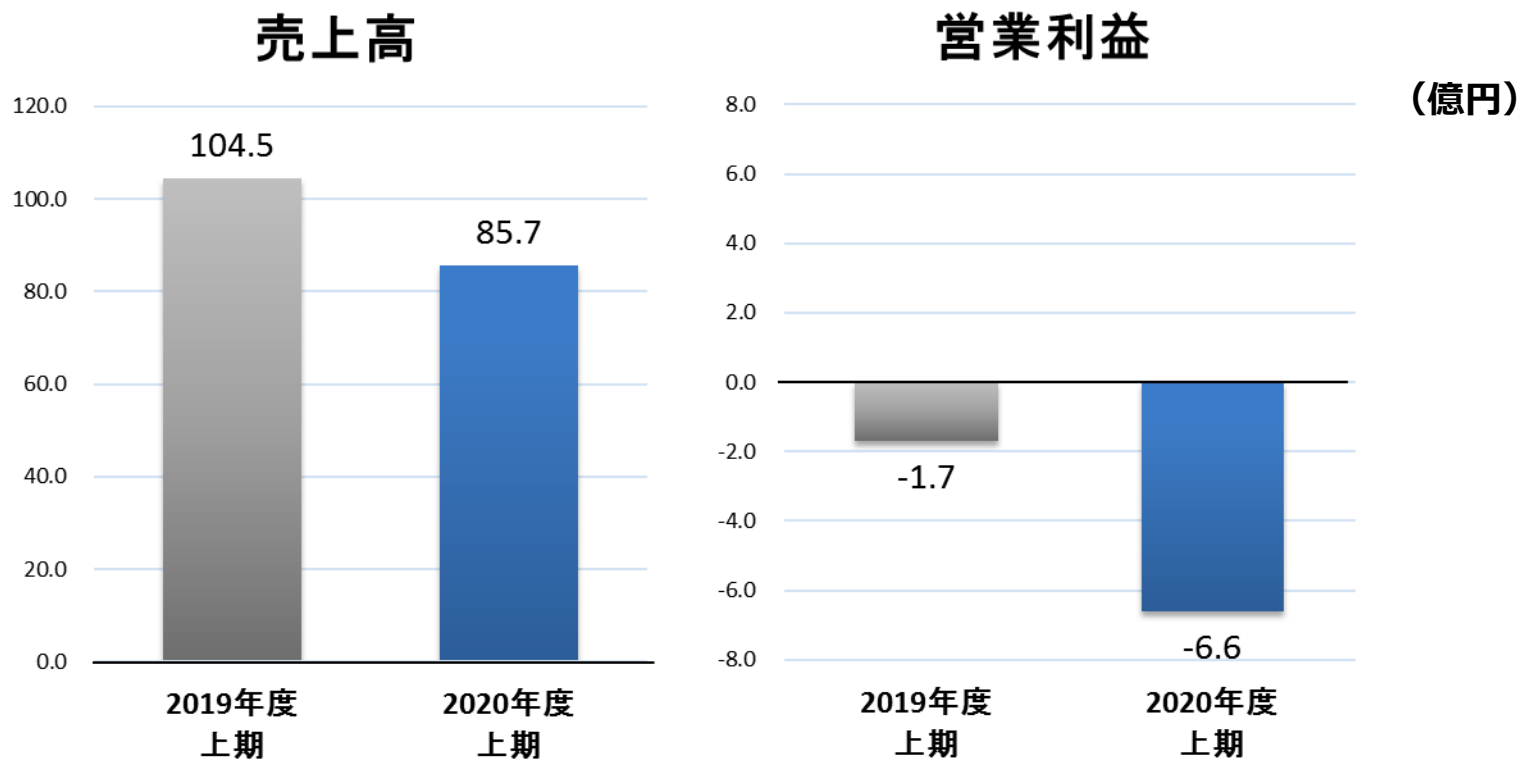
営業利益増減分析（前年比・要因別）





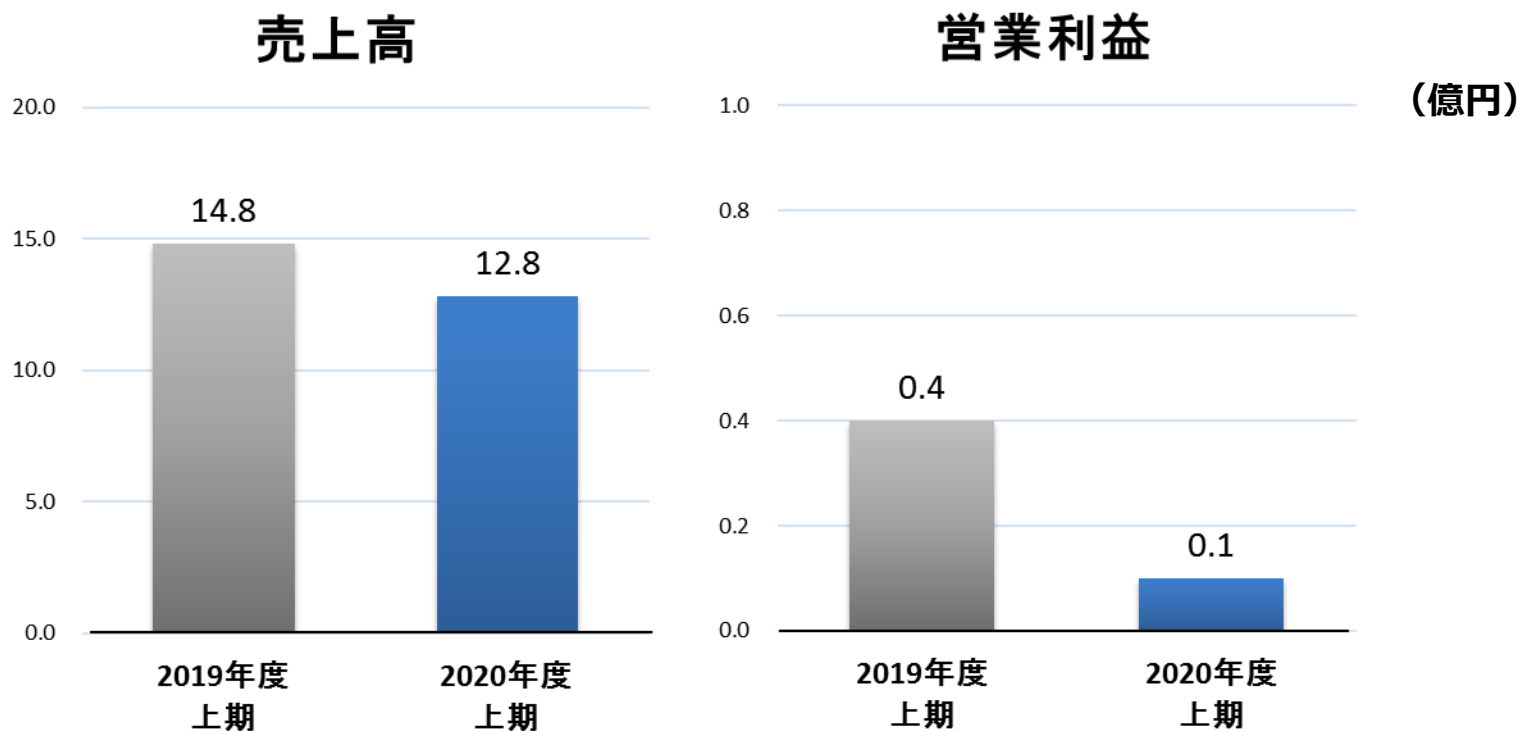
■ 売上高・営業利益

ビル新築事業は営業強化により増収増益、リニューアル事業においても前年のM & Aによるシナジー効果により利益を確保したものの、住宅建材事業の市場環境の悪化と新型コロナの影響を受け、全体では減収減益



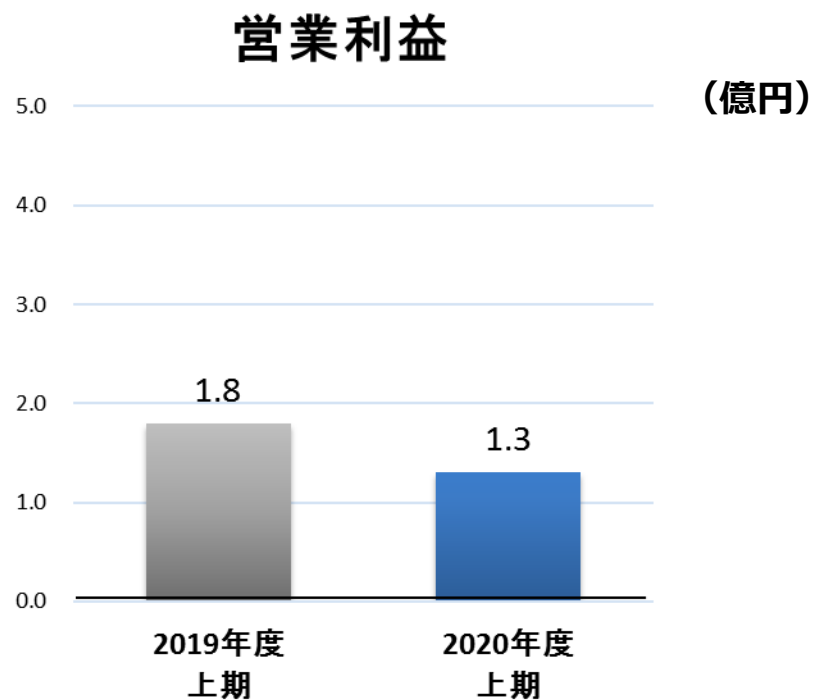
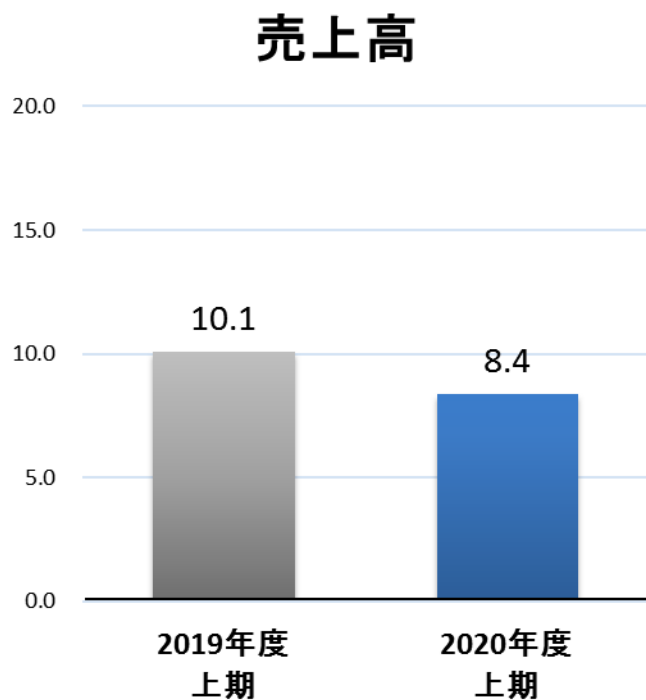
■ 売上高・営業利益

新設住宅着工戸数の減少や新型コロナの影響による
売上・物量の減少および、厳しい市場競争により減収減益



■ 売上高・営業利益

新型コロナの影響によるプラント工事の延期や薬剤物量の減少が影響し減収減益となったものの、利益を確保



■ 売上高・営業利益

新型コロナの影響によりサッシ・形材の物流および一般物流が減少したものの、保管事業の強化を図り利益を確保

連結貸借対照表要旨

(百万円)

	2020年 3月末	2020年 9月末	前期末比
現金及び預金	14,325	14,953	628
売上債権	20,596	14,535	△ 6,061
たな卸し資産	17,830	22,568	4,738
貸倒引当金	-628	-617	11
その他	1,559	2,010	451
流動資産計	53,682	53,450	△ 232
建物及び構築物	7,425	7,411	△ 14
土地	13,683	13,682	△ 1
その他有形固定資産	8,561	8,384	△ 177
投資有価証券	2,254	2,491	237
貸倒引当金	-897	-927	△ 30
その他固定資産	7,444	7,494	50
固定資産計	38,472	38,537	65
資産計	92,155	91,988	△ 167

	2020年 3月末	2020年 9月末	前期末比
仕入債務	20,342	15,732	△ 4,610
短期借入金・社債	12,170	14,920	2,750
その他流動負債	12,510	15,970	3,460
長期借入金・社債	9,284	8,820	△ 464
その他固定負債	17,550	17,672	122
負債計	71,858	73,116	1,258
株主資本	19,434	17,759	△ 1,675
その他の包括利益累計額	733	976	243
非支配株主持分	129	136	7
純資産計	20,297	18,872	△ 1,425
負債・純資産計	92,155	91,988	△ 167

(百万円)

	2020年3月末	2020年9月末	前期末比
利益剰余金	16,923	15,249	△1,674
自己資本	20,167	18,735	△1,432
自己資本比率 (%)	21.9	20.4	△1.5
有利子負債	21,942	24,102	2,160
1株あたり純資産 (円)	159.9	148.5	△11

	2019年9月末	2020年9月末	前年同期比
税金等調整前四半期純損失	-878	-1,324	△446
営業活動によるキャッシュ・フロー	983	54	△929
投資活動によるキャッシュ・フロー	-1,176	-1,327	△151
財務活動によるキャッシュ・フロー	-944	1,952	2,896
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,970	14,335	2,365

受注高・受注残高の推移

(百万円)

	2019年度上期	2020年度上期	前年同期比
受注高	29,173	28,939	△234
受注残高	67,348	63,248	△4,100

設備投資及び減価償却費の推移

(百万円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度上期
設備投資額	3,427	3,122	2,356	2,946	1,016
研究開発費	1,642	1,469	1,677	1,732	735
減価償却費	2,015	2,280	2,208	2,248	1,105

従業員の推移

(人)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度上期
従業員数	2,946	2,948	3,002	3,078	3,109
増 減	△193	+2	+54	+76	+31

社内での感染防止対策

- ・ 手洗いの徹底、マスク着用
- ・ オフィス内に間仕切りの設置
- ・ ソーシャルディスタンスの確保
- ・ 在宅ワーク、時差出勤
(テレワーク・Web会議等)
- ・ 国内外の出張を原則禁止
- ・ 会食は原則禁止

対外的な感染防止策

- ・ オンライン会議の活用
- ・ 会食、会合の自粛
- ・ Web会議の積極的な活用

■ 新製品「飛沫ガード」の発売 (不二ライトメタル株式会社)

- ・ オールアクリル製と比べて軽いため、楽に持ち運びが可能

※幅1,000mm×高さ700mmの製品と比較すると、アクリル製パーテーションの約1/3(1枚約1.2kg)と軽量

- ・ 透明なので圧迫感が無く、周りの様子を確認可能
- ・ 透明パネルは簡単に交換できるため、衛生的



デスクの間仕切り、
窓口・受付、会議室
等様々な場面で
利用可能



Ⅱ. 2020年度の業績予想

【連結】

(百万円)

	2019年度		2020年度			
	実績		予想		前年同期比	
		売上比		売上比	増減額	%
売上高	101,789		92,500		△9,289	90.9
営業利益	596	0.6	200	0.2	△396	33.6
経常利益	737	0.7	440	0.5	△297	59.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	432	0.4	30	0.0	△402	6.9

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減収減益

Ⅲ. トピックス

令和元年度 日本アルミニウム協会賞『開発賞』を受賞

2020年5月28日

光建材商品「アルビームシステム」が、一般社団法人 日本アルミニウム協会が選考する「令和元年度 日本アルミニウム協会賞」において、「開発賞」を受賞。

「建材とLEDを融合させた外装システム建材の開発」は、商業施設や店舗に使用するカーテンウォールやショップフロント建材に独自開発のLEDモジュールを内蔵させるという全く新しいコンセプトから生まれたシステム建材です。

- ① スマートな光のラインの「アルビームカーテンウォール ラインタイプ」
- ② 光のグラデーションを演出する「アルビームカーテンウォール ブラケットタイプ」
- ③ 3種類の照射角度により光の演出が可能な「アルビームカーテンウォール トランザムタイプ」
- ④ 柔らかな間接光でサッシフレームを縁取る「アルビームフロント」

① ラインタイプ



② ブラケットタイプ



③ トランザムタイプ



④ アルビームフロント



令和元年度 労働安全優良事業場『優良賞』を受賞

2020年5月28日

千葉工場（千葉県市原市）は、
一般社団法人 日本アルミニウム協会
が選考する「令和元年度 労働安全優
良事業場表彰」において「優良賞」を
受賞

今後の活動

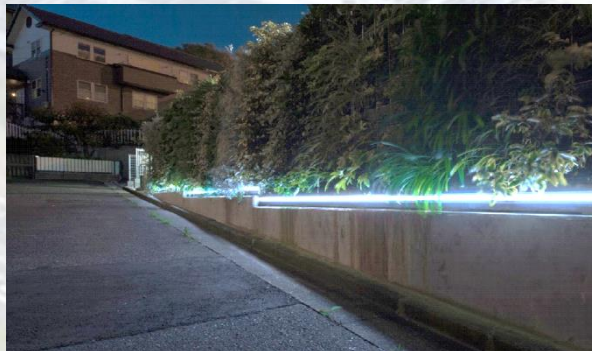
- ・「安全朝礼」「環境・安全パトロール」
「安全衛生委員会」「安全衛生協議会」
「衛生推進委員会」等の活動の継続
- ・社員の意識向上への取り組み



KIDS
DESIGN
AWARD
2020

「第14回 キッズデザイン賞」を受賞

2020年8月21日



＜子どもたちの安全・

安心に貢献するデザイン部門＞

- ・ 壁面や庇等に組み込むことで防犯に配慮した光環境を得ることができる商品
- ・ アルミニウム押出技術により鋭角部を無くし、乳白色のポリカーボネート板でLEDからの光を柔らかく拡散する等、好奇心旺盛な子どもに対しても安心安全な設計

「瀋陽遠大鋁業工程有限公司」との業務提携について

2020年10月1日

不二サッシ株式会社（本社：神奈川県川崎市／社長：吉田勉）は、2020年9月1日、瀋陽遠大鋁業工程有限公司（所在地：遼寧省瀋陽市／以下、遠大アルミ）と業務提携契約を締結いたしました。



【瀋陽遠大鋁業工程有限公司の概要】

会社名：瀋陽遠大鋁業工程有限公司（遠大アルミ有限公司）

英文社名：SHENYANG YUANDA ALUMINIUM INDUSTRY
ENGINEERING CO., LTD.

代表者：劉 福涛（LIU FU TAO）

所在地：中華人民共和国遼寧省瀋陽市経済技術開発区13号街20号

設立日：1993年4月17日

資本金：3億2329万ドル（約34,330百万円）

売上高：2018年度 40億RMB（約620億円）





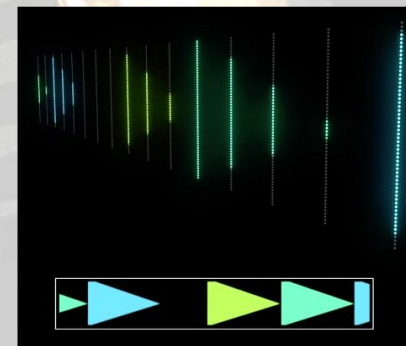
2020年度グッドデザイン賞を受賞

2020年10月7日

光建材商品「アルビームムーブ」が、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2020年度グッドデザイン賞」を受賞

参考使用例

避難誘導にも有効なアニメーション再生の例
(例：左から右へ矢印を流すアニメーション)



建物のファサードにダイナミックな映像表現が可能



《 製品仕様 》

- ・ L寸：カーテンウォール方タテ組込の場合最大L寸法5mまで対応可能
- ・ 使用環境：屋内外（防滴仕様）
- ・ 定格電力：DC12V
- 消費電力：21.6W（1m/10モジュール）

《 販売開始 》

2020年3月

窓から夢をひろげていきます
不二サッシ